



日本カトリック海外宣教者を支援する会

巻頭言

神の国 — 包容社会
～インドでのミッションを終えて～

聖心侍女修道会 用賀修道院 中 出 敬 子

40年間のインドでのミッションを終え、帰国するに当たり机を整理しているとき、故奥村神父様（カルメル会）のお言葉が書かれた1枚の紙を見つけました。「人間は自分を超越することによって真の自分になる」、「自分を超越して他者、他宗教、他文化と出会うことは、無限に広く大きい神の愛に包まれて共に生きる喜びをもたらす」とありました。

インドは日本の9倍の面積を持つ大国で、29の州から成っています。州によって話される言葉が異なり、子供たちは州の言葉の他に公用語のヒンズー語、準公用語の英語を学びます。人種も北はアーリア系、南はドラヴィダ系ですから、皮膚の色、背の高さも違い、いろいろな顔があるといわれています。宗教も世界4大宗教が集まっています。インドでは違いがあるのが当たり前の世界ですから、自分のカラの中に居ては生きていけません。

奥村神父様がお書きになっている通りであることをインドで体験しました。異色のものを排斥することなく、ありのままに受け入れることは、キリストが幼な子となって異郷の地で誕生された秘義を深め、深く神の愛を体験する恵みであったと思います。

♡♡もくじ♡♡

巻頭言	1
第63回運営委員会議事録	2
宣教者からのお便り	3
こんにちは！お久しぶりです！！	12
ザメッセージ・ECHO	13
クリスマスカード	15
新入会員・計報・事務局より	16



インドの「イエズス会」で毎月出版している『JIVAN』という雑誌に、外国で宣教あるいは勉強している会員からの手紙が載せられていて、タイトルは「Lesson for Life」で、“○○の国で学んだこと”という副題がついています。人間は他者のマイナス面を見やすい傾向がありますが、プラスの面、学ぶべき面を紹介する記事で、その前向きな姿勢、見方に興味を覚えてよく読んでいました。

人間それぞれに長所と短所がありますが、神が人間一人ひとりを Loving、Precious、Unique な存在として受け入れ大切にしてくださる事実を、国という次元で見ると、世界が変わって見えるように思います。

最近の新聞で目に留まった言葉に「包容の社会」というのがあります。40 年間、インドのムンバイ（旧ボンベイ）で知的障害を持った子供たちと暮らしていて、子供たちが分かち合ってくれるすばらしいものがあることを体験しました。その 1 つは、私が乳ガンで入院したとき、私のクラスのダウン症で言葉も片言でしか話せない子が、お父さんに「シスター、病気」とだけ伝えたのです。お父さんは修道院に電話をして病院を知ったとき、ガンであることが分かったそうです。それでその日は食を断ち、私の回復のために祈ってくださいました。ヒンズー教であるこのお父さんの真心は忘れられません。

このお父さんは「この子がいるおかげで、私の家族は 1 つにまとまっているのです。それは小さなこの子の成長が家族にとって、大きな喜びになるからです」と。「包容社会」こそ健全で、神の国の到来を見る思いです。

□■□ 第 63 回運営委員会議事録 □■□

日 時：2016 年 12 月 10 日（土） 15:00 ～ 16:10

場 所：ヨゼフ修道院 2 階 会議室

議 事

I. 「きずな」137 号について

* 写真を含め、全体的に印刷が薄いように思われた。

* 文字校正漏れが 2 か所指摘された。

II. 「きずな」137 号について

巻頭言は、検討した結果、40 年の活動を終えて帰国した Sr. 中出敬子（聖心侍女修道会）にお願いすることになった。

III. 援助申請の審議

1) ポリビア・サンタクルスの Sr. 竹山敏江（サレジアン・シスターズ）より、浮浪児施設「カーザマイン」での家庭科授業用教材費に、年間 1 人につき 15 ドル、4 学年で 56 人分の 860 ドル、

を2年間（2016、2017年）合計1,680ドル（196,677円）の申請があった。検討の結果援助を決定したが、送金が難しいため帰国時に2年分手渡すことになった。

IV. その他

- 1) 「きずな」発送は、国内便は12月1日（木）いつものように瀬田修道院でシスター含む14名のボランティアで3,037通発送した。海外便（159通、これにはクリスマスカードを同封した）と大口便（28通）は12月6日（火）に成城教会のボランティア2名を含む5名で187通を発送をした。関係者へのクリスマスカードの発送（94通）は12月3日に行なった。

瀬田修道院ではミャンマー人のシスターが参加してくださり、ミャンマーでのお話を聞くことも出来た。

また、発送ボランティアの平均年齢が70代後半になり、季節によって作業が難しいこともあるので、新たなボランティアを募りたい。

- 2) クリスマスカード作成について

今後のカードの絵柄について検討したが、ネットなどから見つけるのは難しいので巡礼に行った時に撮るなど、日頃から気にかけてほしいと希望が出された。

- 3) 10月23日に行われた徳田教会（東京・練馬区）のバザーに参加、運営委員がブースを担当し12,650円の収益があった。

V. 事務局より

- 1) 現在寄付金の領収書作成は1名で行なっているが、もう1人お願いしたい。
- 2) 未使用の切手・はがきの寄付をお願いしているが、減少しているのでこれからも積極的に声かけをしたい。
- 3) カレンダーの発送は2017年1月13日（金）に事務局で行なう予定。
- 4) 次回運営委員会日時 3月18日（土）15時から開催。



宣教者からのお便り



ドイツ

◆ケルン◆

元日はケルンドームで

イエスのカリタス修道女会 今村トセ

毎年皆様方よりあたたかい励ましのお祈り

と、美しい日本の教会や聖母カレンダーをいただいております。今年も本当にありがとうございました。

日本の教会を代表して、遠く旅立ち、神様の福音を外地で惜しみなくご奉仕なされておられる宣教者のために、皆様方の励ましとお祈りが

神様からの大きなお恵みとなり、心の支えとなつて力をいただいています。心から感謝申し上げます。

私たちは元日、日中ケルンドームにおいて、24時間のご聖体顕示と感謝祭によって新年が始まりました。全世界の教会が父なる神に、共に感謝の祈りを捧げました。

皆様の海外宣教者への支援活動が、益々聖霊



に導かれて皆様の心のよりどころとなれますように、ご発展とご健康をお祈り申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

チャド

◆ライ◆

宿泊センターにきれいなマットレスが

シヨファイユの幼きイエズス修道会 泉 淑 美

お願いしていたマットレス購入費を11月中旬ごろ受け取りました。首都ンジャメナに注文し、届いたのが11月27日。30枚頼んだのですが、良質のものを頼んだので高くなり、26枚分が到着。不足分と送料を払って全部届いたのはさらに6日後でした。この際ですから、蚊帳と蚊帳を吊るための棒も注文しました。

古いマットレスは、教会の婦人たちにお願ひして川で洗ってもらいました。薄くなったマットレスでも水を含むととても重くて、たいへん

な作業でしたが、65枚のマットレスはきれいになりました。宿泊センターに寄宿している障害者の若者たちが、就業訓練で縫製の実習をしているので、彼らにマットレスのカバーを縫ってもらい、薄くなったマットレスを2枚ずつ入れて一つのマットレスにしてもらいました。50枚の古いマットレスが、新しい25枚のマットレスになりました。若者たちが3人あるいは4人組になって、スポンジを押して締め、カバーを両側から引っ張り、さらに手縫いでカバーの開いているところを塞いでいきます。5人の上手な縫子さんが頑張つて、たった1日で仕上げてしまいました。綿のマットレスは、洗うことができないので、ほどいて、綿をほぐし、枕に仕立て直しました。

2013年から何とかしたいと、ずっと願っていた宿泊センターの寝具の交換でしたが、皆様の援助のおかげで弾みを得て、実現することができました。感謝とともに報告いたします。

皆で協力して、何かを実現するのは、大変なことですが喜びも大きく、こんなチャンスにだけたことを神様にも感謝しています。

お願いしたのは780ユーロでしたが、送金中に円が高くなったようで、800ユーロいただきました。こちらで換金して、525,000フランCFAになりました。

1枚17,000フランの予定だったマットレスですが、もう少し質のよいものをと薦められ、欲張つて20,500フランのものを購入したので、予算オーバーしました。全部で615,000フラン、それに送料が一枚1,500フラン、30枚で45,000フランでした。11月以降、センターはお客様でいっぱいですので、なんとか遣り繰

りできると思います。

今こちらは、公務員の給料が数か月の間、滞っているのですが、市場に出回る現金が乏しくなっており、そのせいで、物価が下がっているのだそうです。センターに購入したマットレスも以前は24,000フランくらいだったようです。苦しんでいる人々の多い中で、喜ぶのも不謹慎なようですが、いいチャンスだったと思っています。本当にありがとうございました。

学校や病院など公立の施設がストライキに入ってしまい、なんともあわれな2016年でした。病院は少しずつ運営しているようですが、学校の方は、私立学校だけが授業を行なっています。すでに1学期が終わろうというのに、授業が始まらないのですから、今年のパカロレア試験はないのではないかとわれています。

今年は雨季が早く終わってしまい、お米の収穫が得られなかった人々もありました。身につまされる話の多い中で、イエス様が家畜小屋にお生まれになったことを思い起こす日々です。

どうぞ恵みのうちにクリスマスをお迎えください。皆様のご健康とお幸せを心からお祈りいたします。

シエラレオネ ◆ルンサ◆

生徒たちも落ち着いて勉強

御聖体の宣教クララ修道会 吉田 富美子

クリスマスに「しずけき」に代わって「Holy Night」を歌って何年になるでしょうか。カレンダー、「きずな」、宣教者名簿をありがとうございました。10月から11月にかけて到着し

たので、カレンダーとしての役割は3か月だけでしたが、景色も着物姿の女性も美しく、全学校から装飾に使いたいという注文が殺到しました。くじ引きでOLG中学校に行きました。

2016年は1年半に及ぶエボラ災害から解放されて、学校も通常授業になりました。12月12日には2年ぶりの学園を上げての「グアダルベ祭」で、幼稚園から高等学校まで、歌い、踊り、特別料理をいただき楽しい1日を過ごしました。

変則授業の間に卒業試験や進級試験を受けた生徒たちは気の毒でした。気を取り直して再挑戦の勉強が始まりました。

幸いなことにシエラレオネではテロ騒ぎはなく、イスラム教もキリスト教も仲良く暮らしております。この平和がずっと続きますように！

ブラジル ◆パラナ州◆

「フマニタス」の新しい一歩

横浜教区 佐々木 治 夫
純心聖母会 シスター一同

皆様のご協力によって無事奉仕活動が続けることができましたことを、心よりお礼申し上げます。私どもにとりまして、昨年は重苦しい試練のときでした、と申しますのは、「フマニタス」を喜んで引き受けてくださったと思われた聖カミロ会が2年も経ってから、何の説明もなく、フマニタスの経営を継続できないと断ってきたためです。そのため後継者問題がゼロに戻り、新しい後継者を探さなければならなくなりました。職員一同、修道会に対する不信に苦しみ、この不信が新しい後継者を探すための大きな障



(左から) マルシア・三枝・高平・フランシスコ神父・佐々木神父・新立

害となりました。

お陰様で教区の司教様の紹介で、創立 30 年と浅い歴史の会ですが、素晴らしい「神の摂理のうちのアシジの聖フランシスコ兄弟会」が後継を引き受けてくださることになり、やっと安心いたしました。この会は、本当に、聖フランシスコの精神に生きようと、貧しい疎外された人々や病人、特に重症の精神病患者への奉仕をブラジル全国で行い、ハイチの医療活動にまで手を差し伸べています。私たちの活動を引き受けるに当たって、パラナ州政府の保健局を尋ね、パラナ州で一番必要としている医療部門は何かと問いましたら、精神障害者のための施設と言われたので、それを引き受けることにしたということです。このとき州政府はフマニタスの更生施設の増築と、精神障害者の施設の建設を約束してくれました。こうしてフマニタスの新しい一歩が踏み出されることとなりました。私もシスターたちもここに留まり、できる範囲でのサポートを続けていけたらと思っています。

今までにも増して、プロボリスと古着のご協力をお願いいたすとともに、皆様方の変わらないご支援とお祈りをお願い申し上げます。皆様の上に神様の豊かな祝福をお祈り申し上げます。

ブラジル

◆サンパウロ州◆

地球のための祈り

イエスのカリタス修道女会 中 島 チズミ



私どものために祈りのご支援を力強く感じています。新しき年も主が称えられますように！

《私たちの地球のための祈り》

全能の神よ、あなたは宇宙全体の中に、そして あなたの被造物の中で最も小さいものの中におられます。

あなたは存在するすべてのものをご自分の優しさに包んでくださいます。

命と美とを守れるよう、あなたの愛の力を私たちに注いでください。誰も傷つけることなく兄弟姉妹として生きるために、わたしたちを平和で満たしてください。

おお、貧しい人々の神よ、あなたの目にはかけがえないこの地球上で見捨てられ、忘れ去られた人々を救い出すため、私たちに助けてください。世界を貪るのではなく、守るために汚染や破壊ではなく、美の種をまくため

に 私たちの命を癒やしてください。
貧しい人々と地球とを犠牲にし、利益だけを
求める人々の 心に触れてください。
それぞれのものの価値を見いだすこと、驚き
の心で観想すること あなたの無限の光に向
かう旅路にあって、すべての被造物と深く結
ばれていると認めることを、私に教えてくだ
さい。日々共にいてくださることを、あなた
に感謝します。正義と愛と平和で私たちをど
うか、勇気づけてください。

.....

ブラジル ◆サンパウロ◆

最初の派遣者の突然の帰天

イエスのカリタス修道女会 白 沢 康 子

1967年にイエスのカリタス修道女会の修道会
設立者アントニオ・カヴィリ神父が、ボリビア
に最初にシスターを派遣して53年、その2年
後にブラジルへも派遣して50年となりました。
新たな宣教活動を目指して再出発を始めたこの
お恵みの年、第1回の派遣者の1人であった、
シスターフィオレンサ川上幸代は、1月8日に
突然神の身許に召されました。出身地長崎で育
まれた深い信仰がその生涯を支え、明るさと人
懐っこさでわが身を惜しまず愛の業に尽くされ
ました。イエスの御心の愛を会う人ごとに、
屈託のない笑顔で与え尽くしていた姿は、多く
の人々の心に刻まれていることでしょう。私た
ちはシスター川上の全てをイエスの御心に託し
て祈り続け、生きた証しを大切にしていきます。
「支援する会」の皆様からこれまでいただいた
ご支援に、あらためてお礼申し上げます。

アメリカ ◆ロサンゼルス◆

ぜひセンターにお立ち寄りください

御聖体の宣教クララ修道会 中 嶋 芙美子

旧年中は度々雑誌をお送りいただき、心より
感謝しつつ、ロスの日系カトリック・センター
の皆様と回し合って読ませていただいております。

ロサンゼルス大司教区は、41の言語で毎日
曜日にミサが捧げられています。大司教区の多
民族奉仕局に日系カトリックを代表して、毎月
の集会に出席しています。そしてカテドラルで
毎年荘厳なミサが大司教様、多くの司教、司祭
と共に捧げられます。

どうか皆様、ロスに来られるときにはセン
ターにお寄りください。また、こちらに住まわ
れることになりましたら、毎日曜日、日本語の
ごミサに参加くださるようお招きいたします。



韓国 ◆ソウル◆

大統領の退陣

汚れなきマリアのクラレチアン宣教師修女会 根本 トミエ

いつも「きずな」やお便りをお送りくださりありがとうございます。皆様の心温かいお便りに、いつもうれしく拝見させていただいております。

日本にも伝わっていますように、韓国は今政情が芳しくありません。国民の抵抗により、不正行為を行った朴大統領は退陣に追いやられました。民主主義に目覚めた国民と、ただ自分ひとりよければよいとする政治家との間に深い亀裂が生じました。

国民の叫びはもっともなことだと思います。しかし、「今年のクリスマスの最高のプレゼントは朴大統領の退陣だ」などという毒々しい言葉には、私はめまいを感じました。なぜこうまで言うのかと思うのです。



東ティモール ◆ロスパロス◆

JOCV のイリオマール訪問

JLMM (信徒宣教師会) 深堀 夢衣

皆さんこんにちは！いつも東ティモール通信を読んでくださってありがとうございます。

JICA 青年海外協力隊（以下、JOCV）の長壁さんという方から、AFMET の活動訪問をさせてもらいたいとお話いただいたのが一年前でした。そして9月に共同企画した栄養プロモーションをイリオマールで実現してくださいました。皆さんもご存知の通り、私は何の専門性も持っていません。大学を出てすぐ JLMM（日本カトリック信徒宣教師会）に入り、東ティモールに派遣されてからの経験のみです。保健に関する活動をしているのに看護師でもないですし、栄養に関する事業をしているのに栄養士でもない。日本で保健に関する仕事に就いていたわけでもないのに、未だにこれがちょっと自分のコンプレックスです。専門性を持っていないので、共に働いている AFMET スタッフ、保健局や CHC（Community Health Center）で働くティモール人にいつも支えてもらっています。JOCV といえば専門性抜群の方々！そのため、私は不安な気持ちに。専門性を持っている方々が AFMET の活動を見学したら、いわゆる“ボロ”をたくさん指摘されるのでは、とこわかったのです。

JOCV の皆さんがイリオマールを訪問してくれる話をした際、CHC スタッフのアンセルモさんはとても喜びました。「ええー！本当に来てくれるの？来てくれるだけでうれしいなあ



いつ離乳食を与え始めるのかの指導



月年齢ごとに柔らかさを変えた離乳食

～!!』と。イリオマールは首都ディリからはもちろん、ロスバロスからも遠く、観光名所があるわけでもないため、外国人は全くといっていいほど来ません。

実施した場所はイリオマールの中でもドがつくほどの田舎、まだ電気も通っていない集落、リヒナ。集落長さんが協力的で多くの住民が参加してくれました。JOCV メンバーはコミュニティ開発専門の長壁さんと西田さん、看護師、栄養士、理学療法士、料理人の7人です。栄養満点な離乳食の調理と与え方の指導、そして、お母さん方に向けた母乳を出しやすくする体操を行ないました。離乳食に使用したのは、現在日本でも注目され始めているモリンガ（和名：ワサビノキ。別名ミラクルツリー）で、さまざまな栄養素が豊富に含まれていることで有名です。含まれている栄養素は90種類もあるとい

われており、タンパク質は鶏卵の1.5倍も。たんぱく源が不足しがちなイリオマールでモリンガは比較的簡単に手に入るので、モリンガを使った離乳食作りを指導し、モリンガにじゃがいも、ニンジン、豆とお米を使った離乳食と野菜のスープを作りました。5歳未満の子供すべてが対象なので、離乳食にはあまり調味料を加えずに野菜本来の味で食べること、離乳食の固さや大きさを月年齢ごとに調整すること、そして家族一緒に食事をすることの楽しさを、イリオマールの現地語であるマカレロ語でビデオ撮影していただき、指導してもらいました。一番盛り上がったのは何ととっても母乳体操！お母さんだけではなくお父さんや子供たちも参加してくれ、参加者人数は約80名にのびりました。リヒナの人々にとって、日本人の訪問がどれほどうれしかったのかが伺えました。

フィリピン ◆南コタバト◆

ミンダナオ島で42年

御受難修道女会 松田 翠

長い間、私共海外で働く宣教者のためにご協力、ご奉仕くださっている「宣教者を支援する会」の皆様から心から感謝しております。夏は猛暑の中、冬は厳寒にも拘わらず、私共のため寄付金を募り、「きずな」を印刷、発送していただき、また先日もカトリックの雑誌などをお送りいただき、本当にありがとうございます。私もここフィリピンのミンダナオ島にまいりまして、42年が経とうとしております。国内、海外、また共同体の皆様を支えられ、今日まで幸せに、

喜びと感謝をもって暮らせていただくことができ、感謝しております。ありがとうございます。



した。今後とも海外で生活し、働く者を続けてご支援くださいますようお願い申し上げます。

フィリピン ◆マニラ◆

裸の子供たちにパンツを！

お告げのフランシスコ姉妹会 白石 幸子

2016年クリスマス、フィリピンのレヴェリザで、空腹の子供たちに温かい食物を、裸の子供たちにパンツを、あそび場のない子供たちに本とおもちゃを届けることができました。助けの手を伸べてくださった皆様のご親切のおかげです。ありがとうございました。

子供たち・お母さんたち、そして私からも心からの感謝をお届けいたします。新しく始まる年の一日一日をレヴェリザでの奉仕活動を支え



ほら食べな、おなかすいているよね！

てくださる恩人の皆様お一人おひとりが、皆様からの豊かな祝福で満たされますように！



一冊の本の与える喜びがこれほどまでに大きいと知る

カンボジア ◆コンボンルアン◆

クリスマスと黙想会と

JLMM (信徒宣教会) 井手 司

コンボンルアン水上村でのクリスマスのミサは、25日の朝9時から行われました。教会はきれいに飾り付けられ、多くの方が教会を訪れて賑やかに主のご降誕をお祝いすることができました。担当司祭はいくつもの教会を担当しているため、24日の夜にミサはありませんでしたが、信徒が教会に集まり、主のご降誕を祝うお祈りをささげました。

クリスマスの準備の会議で、神父様から子供たちによる聖劇はできないかと提案がありましたが、指導できる人がいないため、今年は聖劇はありませんでした。神父様は他の教会で指導できる人がいないか探してくださいましたが、水上村に通うのが困難なため、指導できる人は見つかりませんでした。子供たちによる聖劇が見られないことは残念でしたが、教会から子供たちにクリスマスプレゼントを渡す事ができ、子供たちの笑顔を見ることができてうれしかったです。



多くの人が訪れたクリスマスミサ

年が明けて1月5日から8日までの4日間、シェムリアップにあるイエズス会の黙想の家で、JLMMカンボジアのメンバー2人で黙想会を行ないました。今回の黙想会は「日常で神とひびく（柳田敏洋著 イエズス会司祭）」という本を読み、一日に一回二人で分ち合いを行い、それ以外は沈黙の時間としました。

この本には、普段の生活の中で、どのように自分自身を内的に整えていけばよいのか、について書かれています。毎日一日の振り返りを行なうようにしていますが、神様や自分自身と向き合うことが出来ているのか不安になることがあります。しかしこの本には、神様や自分自身と向き合うためのヒントが多く書かれています。そして4日間の黙想の中で、本を読みながら、神様や自分自身と向き合う事ができたと考えますし、そして私の今後についても決める事ができました。

この黙想会が始まる前に、キョンギョン神父様（コンボンルアン水上村の担当司祭）が、「黙想会では、ゆっくり休み、祈りを大切にして、良い黙想を行なってくれ」と言ってくれました。神父様は普段から私に「普段の生活の中で、神様や自分自身と正しく向き合うためには黙想会

はとても重要である」と言ってくれていました。黙想会の1日目はしっかり休み、心身ともに落ち着かせることに。2日目以降は、本を読み黙想に集中していきました。そして3日目には、集中して本を読み、本にある「気づきのエクササイズ」を行なう事で、良い黙想になったと思います。しかし4日目、水上村の信徒の方から、病人支援の依頼で電話が入り、打ち合わせを行いました。水上村の人たちにも黙想会の事は伝えていましたので、電話がかかってくることはないと思っていました。電話で話したことにより、黙想に集中できなくなりましたが、病人支援はスムーズに行う事ができたので、気持ちを切り替えて黙想に集中していきました。黙想会は4日間という短い期間でしたが、私にとってもとても実りのある時間でした。日本で仕事をしている時は、このような黙想の時間を設けようとしませんでした。しかし今はこのような黙想を出来ることにとても感謝しています。この4日間の黙想で学べた事を日々の活動の中で活かせるようにこれからも一日一日を大切にしていきたいです。

ネパール ◆バンティプール◆

大地震に際してご支援くださった皆様へ

ノートルダム教育修道女会 金 谷 美代子

2015年4月25日の正午前、80年来といわれるM7.8の大地震がネパールを襲いました。このニュースが国外に伝わるや、日本でもお心にかけてくださる皆様間に電話やメールが飛び交い、祈り、何ができるかお考えくださった

と伺いました。以来1年半多くの個人、学校関係や教会、修道会、ミッション支援団体の皆様に物心両面で支えていただきました。ご支援がありましたからこそ、現地にいる私たちも微力ながら、直後の緊急支援に始まり、被災した人々の労苦に寄り添いながら、今日までの復興の歩みを共に進めることができました。

震源地のゴルカ地方やカトマンズでは大惨事となり、1万人を超える死傷者が出ました。バンディプール全体では全壊家屋104戸、半壊376戸にもかかわらず死者はなく、けが人や病人も多く出なかったのは、地震発生が日中で近くの畑地に逃げることができたからでしょうか。誰も飢えることなく緊急事態を凌ぐことができました。さし当たっての生活に必要な物品を分配し、学校が再開しても昼食を持参できない生徒に給食を支援し、学業が続けられない生

徒には特別奨学金の支給ができましたのは、皆様のご支援のおかげでした。

被災直後のテント生活、仮小屋、そして今小さいながら本住宅建築の段階に入っており、これまで17軒が再建しました。資金の足りない人には貸し出しもしています。倒壊した住居の大半は、バンティプールでも最も貧しい地域に土と石でできた不衛生なものでした。清潔で明るい住宅が完成すれば、これまでの貧困と差別に苦しんできた人々にとって大きな救いになり、震災復興活動は、よりよいネパールの社会作りへと、つながってまいります。

震災復興支援募金のお願いはこれで終了させていただきますが、今後とも、ネパールの人々と社会にお心を寄せていただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



事務局訪問の宣教者の皆様

12月9日 ————— コンゴ キンシャサ
マリアの宣教者フランシスコ修道会 Sr. 佐野浩子



いつも「きずな」を通して日本の皆さまからの暖かいお心、そして全世界いたるところで全身傾けて、主のよき知らせを告げ知らせておられる宣教者の皆さまから、力をいただいて過ごさせていただく日々を心から感謝しています。ありがとうございます。久しぶりの日本の美しい紅葉、また氷のような寒い風の中で過ごした日々、いろいろな出会いなどを心に深く刻みました。新しい力をいただいてまもなく、笑顔と輝く太

陽の待つコンゴ民主共和国に帰ります。

1月24日 ————— インド ムンバイ
聖心侍女修道会 Sr. 中出敬子



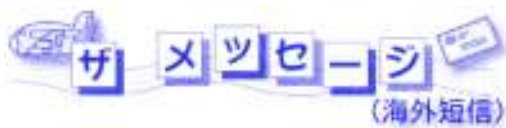
インドでは「マザーテレサの会」のみビザが発給され、私たちは必要な場所だけで活動するワーキングビザのみでした。ハンセン病や精神障害のある親や子供のための施設で、40年働きましたが、今後はその地域の日本人は不在になります。支援する会の皆様には、「きずな」を送っていただき、またお祈りなどのご支援をいただき感謝いたしております。

2月3日 ————— ブラジル サンパウロ
イエスのカリタス修道女会 Sr. 白沢康子



事務局の皆様には大変長い
間ごぶさたして心苦しく思っ
ておりましたが、今日幸いに
念願がかなってお訪ねできま
したことをとてもうれしく

思っています。お互いに顔と顔合わせてお話し
することの大切さを感じ、実現できたことをあ
りがたく思っています。どうぞ、これを機会に
より良い交流を深めていけたら幸いです。皆様
方の献身的なご奉仕が、私どもの宣教の力になっ
ていること、神に感謝をささげたいと思います。
聖母マリアのご保護が常に皆様の上にあります様に。



*** 東ティモール (ディリ)**

聖心侍女修道会 中村 葉子

今年も美しいクリスマスカードをお送りいた
だき、心より感謝申し上げます。会報も毎回、
興味深く読ませていただいています。同じ宣教
地と言っても、各地に独特の難しさがあること
などが学べ、大きな助けになっています。今年、
東ティモールは2つの大きな国政選挙がありま
す。どうか混乱なく実施されますようお祈りく
ださいませ。

*** アメリカ (ボストン)**

師イエズス修道女会 丹野 清子

皆様それぞれに恵み豊かなイエス様のご降誕
をお迎えのことと思います。物心両面において
宣教者を支えてくださる皆様に、イエス様が特
別な祝福とごほうびで報いてくださいますよう
にお祈りしています。「きずな」をいただく度、
興味深く読ませていただいておりますが、感謝
のお便りもさし上げず、ごめんなさい。

*** ドイツ (デュッセルドルフ)**

聖パウロ女子修道会 比護 キクエ

主のご降誕と新年のお喜びを申し上げます。

いつもお祈りと「きずな」誌のご送付ありがと
うございます。10月にマダガスカルからの姉
妹が、ドイツへ宣教女として派遣されて来て、
一緒にがんばっています。

*** 韓国 (テジョン)**

御聖体の宣教クララ修道会 山崎 三恵子 小川 和子

キリストのご降誕の話に耳を傾けるときに
は沈黙し、幼子イエスが語るがままにまかせま
しょう。幼子のみ顔をうっとりと思い巡らし、
そのことばを心に留めましょう。御子を腕に抱
き、御子に抱かれるままに自らをゆだねれば、
わたしたちは、御子によって永遠の心の平安へ
と導かれるでしょう（教皇フランシスコのこと
ば）。昨年、私たちにお寄せくださった関心と
愛に心から感謝します。幼きイエス様がマリア
様の胸の中でお感じになった安らかさを、皆様
もお感じになれますようお祈りいたします。

*** 韓国 (ソウル)**

フランシスコ会 高阪 淑皓

人となられた幼子の愛と恵みが皆様の上に豊に
注がれますように！私は2月よりソウルへ移動
になりました。日一日と寒く、冬本番です。皆様
くれぐれも健康に留意してお過ごしください。

*** ペルー (アレキパ)**

聖パウロ女子修道会 松崎 ノブ子

いつくしみの特別聖年に包まれた一年も過ぎ、主イエズスの誕生日がやって来ました。おめでとうございます。皆様には併せて「ごくろうさま！」と申し上げます。毎回の「きずな」、カレンダー、ニュースをありがとうございます。いつもすみからすみまで楽しませていただいております。皆様方一人ひとりの上に恵みと平和が豊にありますように！

★シエラレオネ（東京で療養中）

御聖体の宣教クララ修道会 白幡 和子

ご無沙汰致しております。毎日、お忙しいのでしょうね。昨年の10月に総長が日本に来られた際、帰国中だった私はそのお手伝いで、膝を痛めてしまいました。未だに痛みが引かず、週1回の注射のために医者に行く以外は、リハビリも外出も禁止されています。修道院の中でも、祈りと食事以外は、自分の部屋でもっぱらロザリオやクラシックのCDを聴きながら刺繍をしています。刺繍の作品は麻布教会のバザーで売って、シエラレオネのための支援になります。今のところは日本でおとなしくしております。

★カンボジア（プノンベン）

日本カトリック信徒宣教師会 浅野 美幸（代表）・井手 司

JLMMカンボジアからクリスマスのご挨拶です。皆様には日頃から温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。現在、プノンベン・ステメンチャイに浅野、コンボンルアン水上村に井手の2名が派遣されています。この2名が、現地の人々と喜びや苦しみを分かち合い「共に生きる」ことで、福音的な社会の実現を目指すこと、それが日本の社会から派遣された私ども信徒宣教師の使命です。これからも応援、お祈りのほどよろしく申し上げます。



★春の訪れを感じる頃となりました。私ども「芝の会」は、平成29年3月をもちまして34年間にわたる活動に幕を閉じ、解散の運びとなりました。従ってご支援も28年度のご送金で終了させていただきます。世界各地の貧困地域などでご活動の神父様方、シスター方、そしてその方々を支えていらっしゃる皆様の上に、神様の豊かなお恵みがありますようにお祈り申し上げます。（東京都 NPO 法人「芝の会」）

NPO 法人「芝の会」様には毎年多額のご支援をいただき、誠にありがとうございました。長年にわたるご支援で宣教者たちの活動はどんなに助けられたことでしょう。解散なさっても皆々様が神様のお恵みの中でお健やかにお過ごしになられますように。

★クリスマスおめでとうございます。子供たちの「おにぎり献金」です。皆様の活動のお役に立てれば幸いです。

（大阪市 城星学園小学校 滝口ひとみ）

★いつも「きずな」お送りくださりありがとうございます。皆様のお働きの上に、神のお恵みが豊かに注がれますように！

（東京都世田谷区 竜田信子）

★「きずな」をいつもありがとうございます。この1年も神様のお恵みがありますよう、皆様のご活躍をお祈りいたします。

（北海道札幌市 カトリック北26条教会

担当 今野ユリ子）

今年も世界各国からたくさんのカードが届きました。



新入会員 (敬称略)

個人会員 9名

高瀬 将章 (愛媛県西条市)	波田野洋子 (東京都日野市)
東田 裕子 (千葉県習志野市)	山田勢津子 (沖縄県沖縄市)
励 長古郎 (鹿児島県大島郡)	佐藤 隆 (東京都世田谷区)
茨木 留士 (和歌山県和歌山市)	井上 静子 (東京都杉並区)
深水 正勝 (東京都文京区)	

ペルー日系二世最初の司祭の帰天

マヌエル・マサミ加藤神父様は1月6日、リマにある「日本人移住百周年記念病院」にて91年の生涯を終えられた。1926年リマで生まれ、1941年受洗、13年間修道士として活動し、1954年日系二世最初の司祭となり、日本、北米、イタリア、ベルギーで宣教後リマに戻り、本格的に日本人、日系人のために働かれた。有志たちと貧困地区に病院を建て、技能訓練校を立ち上げ、黙想の家を完成させ、さらに日系人のための憩いの家と小聖堂も建てられた。2004年には金祝を迎えられた。6日に亡くなられて8日の朝まで多くの参列者が別れを惜しんだ。ペルー・リマ 信徒ボランティア 大橋美智子

事務局からのお願いとお礼

- *「さずな」の発送作業を手伝ってくださる方を募集しています。年4回、3、6、9、12月の第1木曜日、午前10時から、「マリアの宣教者フランシスコ修道会瀬田修道院（世田谷区瀬田4-16-2）」のお部屋で行ないます。お問い合わせは火曜日、金曜日に事務局へどうぞ。
- *未使用の切手、書き損じのはがきなどありましたら、ぜひご寄付ください。
- *いつも匿名でご寄付してくださる方がいらっしゃいます。領収書をお送りできないので、この場をお借りしてお礼申し上げます。
- *今年は3月1日が灰の水曜日、そして四旬節に入ります。4月16日には皆様、よいご復活祭をお迎えになりますように！

発行：日本カトリック海外宣教者を支援する会

会長 M. マタタ

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39

Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL <http://www.kaigai-senkyo.jp>

・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112

日本カトリック海外宣教者を支援する会

・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教者を支援する会